

2018.11.21 読者投稿



立地自治体並み協定

出雲市「続けて要請」

市民団体に回答

出雲市は20日、中国電力島根原発の稼働に反対する市民団体「島根原発・エネルギー問題県民連絡会」（北川泉代表世話人）の要請書に回答し、中電に対して立地自治体並みの安全協定締結を、引き続き同じ周辺自治体の雲南、安来両市と連携して要請する考えを示した。

同市今市町の市役所で、

新報

連絡会の保母武彦事務局長に回答書を手渡した持田俊司市防災安全担当部長は、3市長が7月に早期締結を中電に申し入れたことに触れ、「まだ回答がないが、内容が不十分であれば、新たな手段を考えていく必要もあると思う」と述べた。協定締結の時期は、原子力規制委員会による2号機の新規制基準適合審査の終了時点が一つのめどになるとの考えを示した。

連絡会は、周辺自治体の5市と鳥取県、立地自治体の松江市と島根県に要請書を提出。同日で周辺5市の回答は出そろった。

（岡田素衣）